

2月12日：VN指数は後場に急失速 (VN-Index -0.12%)

- 本日のVN指数は堅調に寄り付いた。前日終値を大きく上回り、勢いのある始まりとなった。
- 前日終値付近まで一度値を下げたものの、資本財・サービスセクターの上昇によりその後は着実に上昇していった。
- しかし、買い支えの力は徐々に弱まっていき、後場には下落圏内まで値を下げた。
- 売り圧力はそれほど強くなかったものの、指数の下落には充分であった。素材セクター、銀行セクターが本日の重しとなった。
- 209銘柄が上昇、226銘柄が下落、93銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は19.6%減の11.3兆ドンとなった。

VN30指数はより速いペースで下落 (VN-30 -0.20%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、11銘柄が上昇、14銘柄が下落、5銘柄が変動なしであった。
- MBB (-1.30%)、BID (-1.11%)が主要な下落銘柄。
- 一方、BVH (+3.23%)は堅調に推移し、指数を下支えした。

セクター・個別株の動き

- 指数算出サービスを提供する米金融機関MSCIは、MSCIフロンティア指数にBMP (+0.17%)、CMG (+1.57%)、VTP (+3.87%)を加えたことを明らかにした。これにより、ベトナム株は同指数の24.69%を占めることになる。
- FPT (-0.28%)は韓国で4か所目となるオフィスを開設した。オフィスの所在地は“韓国のシリコンバレー”と呼ばれるパンギョ。同社はさらに2つの新オフィス開設を目指し、韓国企業にとって信頼できるデジタル・パートナーとしての地位の強化を引き続き目指す。
- 外国人投資家は4,080億ドンの売り越しとなった。MWG (0.00%)の売り越し額が1,000億ドンを超えた一方、買い越しは分散した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。